

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と 三重県多気町との相互協力・連携に関する基本協定の締結



【ポイント】

- 地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与するとともに、関連する学術の発展に寄与することを目的とした協定を締結
- 自動運転バスなど地域の交通および文化・産業の振興、特色あるまちづくりに関する研究を実施
- 三重県多気町をフィールドに教育・人材育成に関する取組を実施

【概要】

- 国立大学法人 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構【機構長 須田 義大】（以下「UTmobi」という）と三重県多気町【町長 久保 行央】（以下「多気町」という）とは、相互協力・連携に関する協定を令和6年11月11日に締結しました。
- この協定は、地域の課題解決に、交通・まちづくりの観点から継続的に取り組むことを目的とするものです。これにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与するとともに、関連する学術の発展に寄与することを目指します。



自動運転バス実証実験場でもある多気町の複合リゾート施設VISIONにて調印式を行う
久保多気町長（右）と須田機構長（左）

